

● 民生委員の活動の現状と課題について
● 市民の安心・安全のため防犯カメラの設置を

池田 稔巳 (政和会)

民生委員・児童委員は、地域住民の社会福祉の増進に重要な役割を担っておられる方々である。高齢化等となり手不足が生じていると聞いているが、行政として今後どう対応していくのか。

市長 民生委員・児童委員が108人、主任児童委員が20人の併せて128人が定数だが、うち2人が欠員となっている。委員の皆さんは市民にとって最も身近な相談者であり、行政との繋ぎ役を担っていることから、市民サービスの向上と市民福祉の推進のためにも、委員の確保に努めていかなければならないと考えている。

市が出している活動費負担分を増額できないのか。

福祉部長 民生委員は国が委嘱している地方公務員なので、実際は県が措置するようになっている。市では難しいと考えている。

委員の確保においては、現状の区長さん任せではなく行政全体で考えていく必要があると思うがいかがか。

総務部長 私も担当部長の時に、大変苦労した経験がある。おっしゃる

池田 稔巳 (政和会)



とおり、市役所内の全課に係る部分もあるので、連携しながら対応していきたい。

平戸市では市民の安心・安全のために多くの団体や個人の方々がボランティアとして活動して頂いている。それでも事件・事故は起きている。学校を始め公共施設や観光施設でも防犯カメラの設置は少ない。毎年平戸市を訪れる170万人の方々の安心・安全を確保し、それぞれの施設やそこで働く職員を守ることは行政の役目だと思う。犯罪抑止や記録提供による事件の早期解決のためにも防犯カメラの設置効果は大きく意味があると思うがいかがか。

防犯カメラやドライブレコーダーの設置により、どれだけ犯罪の抑止効果があるかの検証は今後調べ直す必要があると思う。犯罪のないまちづくりが、あらゆる方々の自助共助によって達成できるよう、関係機関と協議していきたい。

各議員のQRから一般質問の録画中継をご覧ください。

● 市長四期目の農業施策の考えは
● 財源確保、予算編成について
● 市道北部海岸線及び市道平川線の整備は

吉福 弘実 (新波クラブ)



新規就農者の確保のため、ハウスのリース事業を検討すべきでは。

農林水産部長 初期投資の軽減を図る上で大変有効な取組みと認識している。農協や関係機関と研究する。

市長 初期投資のリース化は重要。JAながさき西海、そして我々行政とともにやってみようと思う。

農林水産省は、2022年、中山間地域での農地保全や住民の生活支援などを担う農村地域づくり事業体、略して農村RMO育成事業に取組み、集落宮農組合や農業法人等が住民の買い物や子育て支援を担うなどの事業、また市町村や自治体が立ち上げた協議会を支援する事業だが、本市も取り組むべきではないか。

農林水産部長 国の制度・県の事業を受けながら、この制度に取り組む地域を支援していく。

市町は、国策を利用しなければ衰退の一途をたどる可能性があるのではないか。

市長 農家個々人の意識改革、そして共同体としての意識、それを調整した上でJAと行政が連携していく

という流れかと思う。

市税やふるさと納税、財源確保について具体的に取組みは。

財務部長 納期内納付の促進、クレジットカードやキャッシュレス決済による収納環境の整備に努めている。ふるさと納税は12月ひと月分の収入が全体の半分以上にあたる。6億から8億円の目標に達成できればと思う。

財政調整基金、減債基金、ともに指標より多いが、繰上償還すべき金額や市民の目線から見れば市民への還元もよいのではないか。

財務部長 財政健全化計画のプランの中で財政調整基金は27億円という目標を立てていた。

市長 財政出動については、めり張りの利いた形で市民に役立てる。

市道北部海岸線、市道平川線の整備計画は。

建設部長 市道北部海岸線については、令和4年度に測量し、令和10年度完成の見込み。市道平川線については、地区役員及び関係者へ説明を行い、地元と協力し事業同意が得られるよう取り組んでいく。

● 生活道路の安全対策と維持管理について
● タブレット端末を活用した学習について
● まちづくり運営協議会の今後の活動について

大村 謙吾 (新波クラブ)



道路の安全対策や時間短縮に向け整備が必要。現在の整備状況を問う。

市長 『市道山中紐差線』は急カーブをなくし、見通しの確保を目的として進めている。また、木引町から明の川内町に至る『平戸島北部バイパス』の事業化を進めている。

建設部長 『野子町向月上区』は急カーブが連続する危険な区間で早期の整備が必要。令和4年度にトンネル工事の発注を行う予定であり、着手すれば開通時期も見えてくる。『上中津良町草積工区』でも工事を計画的に進行中。また、『山中紐差線の大越峠付近』より北部側千沢、南部側440以上の線形改良事業に着手している。

支線幹線道路の沿線の樹木伐採(陰切り)について尋ねる。

建設部長 市道は、地区からの伐採同意書と申請書があれば伐採に必要な高所作業車やオペレーターを派遣し、地区では伐採木の処理のみを行うという制度がある。地元協力をお願いし伐採支援に任せられるよう関係部局と協議し予算確保に努力する。

本市は離島もあり、入り組んだ地形も多い。児童生徒が家庭でタブ

レットを使用する際のWi-Fiや電波環境について平等に学習できるのか。

教育次長 現時点では、市内小中学校に在籍する家庭で電波が届かない地域はない。立地次第で電波が弱く不安定な家庭も出てくる可能性があるため、電波改善装置、通信料含めたルーターの貸出しを無料で行う予定。オンラインでも学習可能な教材も検討している。

14地区のまち協の活動は全国でも高く評価できる。今後、ボランティアスタッフなどの担い手不足を懸念。市内各種団体の事業すみ分けと持続可能な方向性を見出す事も必要。支所機能、公民館機能を担わせる事も考えるか方向性を問う。

総務部長 まち協は、地域の独立した団体と考え、一方的に市の機能を担わせる事は考えない。市の業務について支所機能は個人情報取り扱いがある事から民間への移行は難しい。しかし、公民館機能は指定管理として一部業務を担っている協議会がある。地域でできることは地域で行う体制整備を行政と地域が連携して行いたい。

私たちが新しい
議会広報特別委員会委員です

平戸市議会だよりは、定例会・委員会等の内容を詳しくお知らせし、市民の皆さんの議会に対する理解と市政への認識を深めていただくことを目的に、5名の委員で構成する「議会広報特別委員会」で内容、構成等を検討し、年4回発行しています。

今後とも親しまれ、読みやすい紙面づくりを心がけ頑張っていきますので、どうぞ、よろしくお願いいたします。



議会広報特別委員会

- 委員長 松口 茂生
- 副委員長 神田 全記
- 委員 井元 宏三
- 針尾 直美
- 吉住 龍三